

日本原子力学会 核燃料部会
令和7年度第6回運営小委員会議事録

日時 : 令和8年2月25日(水) 9:30~11:30 於 WEB 会議(Teams)

出席者 : 尾形部会長, 黒崎副部会長, 渡部副部会長, 阿部委員, 宇田川委員, 逢坂委員, 長内委員, 片山委員, 樽松委員, 園田委員, 田伏委員, 鶴田委員, 中西委員 (代理 : 原電 安元さま), 森本委員, 吉委員, 西岡 (記)

議事 :

0. 開催挨拶

運営小委員会開催にあたり, 尾形部会長からご挨拶をいただいた。

1. 前回議事録等の確認 (資料 1)

前回 (令和7年度第5回) 議事録は, 確認済みであり, 配布のみ。

2. 令和8年度核燃料部会業務分担について (資料 2-1, 2-2)

令和8年度の業務分担案について西岡から説明した。尾形部会長より、新部会長は黒崎副部会長、新副部会長は宇田川委員と坂本委員をご推薦いただき、運営小委として異議はなかった。また、「令和9年度以降も、産業界、大学、原子力機構のいずれに偏ることなく部会長及び副部会長が選任されることを期待致します。」との部会長のコメントが紹介された。新部会長と新副部会長の選任については、3/12(木)の全体会議で承認を得ることとした。また、尾形部会長より、資料 2-1 における「核燃料部会長、副部会長の任期 (目標)」の表について、選任者・任期を表に縛られないようにする観点から、表を消した方が良くのご意見いただいた。

3. 令和7年度収支実績と令和8年度予算について (資料 3)

西岡から、令和7年度の収支実績及び令和8年度予算資料について、繰越金の欄に令和8年1月末時点の実績を反映したことを説明し、第5回運営小委から実績変動はないことを報告した。

4. 企画小委員会の概要について (資料 4)

黒崎副部会長より、2/2(月)に開催された企画小委の内容についてご報告いただいた。企画小委では、2026年度夏期セミナーや TopFuel2026 の検討・準備状況について報告があり、いずれも恙なく検討・準備が進行中。夏期セミナーの講演プログラムについて、現在立ち消えとなっている「各大学の原子力研究の歴史」を講演プログラムに復活させてみてはどうかと、黒崎副部会長より提案があった。また、第5回運営小委で議論した「企画小委のあり方」についても企画小委で共有され、「若手主体に移行」または「運営小委と一体化」をベースとして運営小委で検討を継続し、2026年度中に体制を決定することで認識共有された。

令和 8 年度より、企画小委の現担当である坂本委員が核燃料部会副部長に選任されるため、企画小委の人員が減少するが、当面は人員補充の希望がない限り補充しないこととした。また、令和 8 年度より企画小委幹事が交代となり、JAEA 鈴木委員から NFI 殿の担当者に変更となることが報告された。

5. 核燃料部会全体会議の準備について（資料 5）

西岡より、3/12(木)に開催される全体会議の資料の作成状況について説明した。第 5 回運営小委でいただいたコメントを反映し、新部長と新副部長を更新したことを報告した。

令和 8 年度の体制について、部長と副部長の業務を以下のように分担することとし、坂本新副部長への業務分担のご説明は、渡部副部長よりご説明いただくこととした。

- ・国際活動：坂本副部長
- ・部会等運営委員：坂本副部長
- ・代議員：黒崎部長、宇田川副部長
- ・企画小委委員長：宇田川副部長

現状の運営小委員会では大阪大学からの委員が入っていないため、黒崎副部長より大阪大学の牟田先生または大石先生に運営小委員会の委員就任について打診していただくこととした。また、阿部委員より、今後の活動予定に「第 7 回アジアジルコニウム会議（6/30～7/2 @ソウル）」を追記するようコメントいただいた。

最後に、運営小委の名簿については全体会議で承認を得る必要があるため、令和 8 年度に委員変更がある場合は、3/5(木)までに西岡にご連絡いただくこととした。

6. 2026 年春の年会の企画セッションについて（資料 6）

阿部委員より、2026 年春の年会の核燃料部会・計算科学技術部会合同セッション「核燃料開発への AI 応用」の予稿についてご説明いただいた。

7. 2026 年春の年会の学会講演賞について（資料なし）

西岡より、2026 年春の年会の学会講演賞の応募状況について、5 名の応募があったことを報告した。現在、応募は締め切っており、評価者の調整を行っている状況であることも報告した。

8. 2026 年秋の大会の企画セッションについて（資料なし）

2026 年秋の大会の企画セッションについては、例年 5 月の連休明け頃に募集の締め切りが設定されるため、3 月の委員交代後、速やかに調整を進め、4 月上旬に企画案のメール審議を実施することを目標とした。

9. 今後の核燃料部会 HP 管理の体制について (資料 9)

原電 安元さまより、今後の核燃料部会 HP 管理体制について、HP 管理用の専用 PC を購入し、専用 PC を HP 管理担当に引き継いでいくのが良いのではとご提案いただいた。この体制の場合、さくらレンタルサーバーへのアクセスのためのネットワークへの接続方法が課題となるため、さくらレンタルサーバーの運用実績がある計算科学技術部会にアクセス方法を早めに問い合わせることとした。

10. 核燃料部会報の企画記事について (資料 10)

田伏委員より、2026 年 6 月に発行予定の核燃料部会報 (No. 61-2) の内容案をご報告いただいた。「関係機関便り」については、資料 2-1 の業務分担表の 4 グループで順番に担当することとした。

11. 2026 年度夏期セミナーについて (資料 11)

渡部副部長より、2026 年度夏期セミナーの準備状況について報告いただいた。会場はアクセスの観点から BIZcomfort 水戸 (水戸駅前) に決定した。プログラム案もご提示いただき、1 日目は総論、2 日目は様々な核燃料に関する講演、3 日目は見学会の予定であることをご説明いただいた。

12. 部会等運営委員会からの連絡事項 (資料 12)

渡部副部長より、1/23 (金) に開催された部会等運営委員会の内容についてご報告いただいた。年会大会運営を各部会が担うという提案は反対多数で否決。

また、今後の年会大会を 2026 年春の年会のように事務局+実行 WG で運営する提案があり、これが決定となった場合、今後実行 WG 委員として協力要請がある可能性あり (春の年会の実行 WG 委員は渡部副部長が担当)。

13. TopFuel2026 準備状況 (資料なし)

尾形部会長より、TopFuel2026 の準備状況についてご説明いただいた。発表件数は現時点で約 350 件、スポンサーも国内外から集まっており、黒字化が見込める状況であることをご報告いただいた。

14. 運営小委における情報交換・情報共有について (資料なし)

渡部副部長より、ATF と HALEU (5wt%超ウラン) の海外動向について情報共有いただいた。ATF については米国 DOE の多額予算を背景に商用炉照射試験が進む一方、導入に関してはあくまで経済的利得が重視されているとのこと。HALEU については軽水炉の経済性向上や新型炉向けに 5wt%超ウラン製造の動きが旺盛であり、濃縮施設の増産や加工施設の事業許可変更や設備改造の動きが進められているとのこと。

15. その他

令和8年度第1回運営小委は5月初旬に実施する予定であることを周知。また、1F事故から15年の節目に当たり、事務局から学会誌への寄稿依頼があったことを周知し、核燃料部会として引き受けることとした。本件は全体会議でも周知し、3/31(火)までに寄稿可否と寄稿者を回答することとした。

以上